

令和7年5月13日

各位

トモニホールディングスグループの令和7年3月期決算概要について

トモニホールディングス（本社：香川県高松市、社長：中村 武）は、令和7年3月期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）連結業績等の概要と、当社グループの中核企業である徳島大正銀行（本店：徳島県徳島市、頭取：板東豊彦）及び香川銀行（本店：香川県高松市、頭取：山田径男）の単体業績等の概要について発表いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. トモニホールディングス

(1) 令和7年3月期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）連結業績

当期における損益状況は、経常収益は、株式等売却益の減少によりその他経常収益が減少したものの、貸出金利息及び有価証券利息配当金の増加により資金運用収益が増加したことに加え、役員取引等収益が増加したこと等により、前期比7,290百万円増加して95,107百万円となりました。経常費用は、預金利息の増加により資金調達費用が増加したこと、貸倒引当金繰入額の増加により与信関連費用が増加したこと等により、前期比5,442百万円増加して71,731百万円となりました。その結果、経常利益は、前期比1,848百万円増加して23,376百万円となり、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比1,824百万円増加して15,832百万円となりました。なお、当期の業績等を踏まえ、期末配当金は直近の予想より50銭増配し1株当たり9円50銭といたします。これにより、当期の年間配当金は1株当たり16円50銭（配当性向20.0%）となります。

当期末における主要勘定残高の状況は、総資産残高は、前期末比2,242億円増加して5兆346億円、純資産残高は、前期末比66億円増加して2,840億円となりました。また、譲渡性預金を含む預金等残高は前期末比2,071億円増加して4兆5,443億円、貸出金残高は前期末比1,340億円増加して3兆6,898億円、有価証券残高は前期末比480億円増加して7,352億円となりました。

		令和7年3月期	
		前期比	
損益	経常収益	95,107百万円	7,290百万円
	経常費用	71,731百万円	5,442百万円
	経常利益	23,376百万円	1,848百万円
	親会社株主に帰属する当期純利益	15,832百万円	1,824百万円
		令和7年3月期末	
		前期末比	
主要勘定残高・諸比率	総資産	5兆346億円	2,242億円
	純資産	2,840億円	66億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	4兆5,443億円	2,071億円
	貸出金	3兆6,898億円	1,340億円
	有価証券	7,352億円	480億円
	自己資本比率（国内基準）	9.46%	0.23%

(2) 令和8年3月期第2四半期累計期間（令和7年4月1日～令和7年9月30日）及び通期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）連結業績予想

次期（令和7年4月1日から令和8年3月31日まで）の業績につきましては、経常利益は、前期比1,474百万円増加して24,850百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前期比668百万円増加して16,500百万円を見込んでおります。また、次期の配当につきましては、株主還元方針（配当性向30%以上）に基づき、1株当たり年間配当金は前期に比べて9円50銭増配の26円00銭（中間・期末配当とも各々13円00銭）を見込んでおります。これにより、5期連続の増配となる見込みであります。

① 令和8年3月期第2四半期累計期間

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益
令和8年3月期第2四半期累計期間	11,850	8,000

② 令和8年3月期通期

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
令和8年3月期通	24,850	16,500

## 2. 徳島大正銀行

### (1) 令和7年3月期(令和6年4月1日~令和7年3月31日)単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したこと等により、前期比3,929百万円増加して51,734百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前期比2,360百万円増加して34,128百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比1,728百万円増加して15,543百万円となりました。

経常利益は、債券リバランスに伴い国債等債券売却損が増加したものの、前期比310百万円増加して12,332百万円となり、当期純利益は、前期比426百万円増加して8,299百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、法人預金を中心に増加し、前期末比687億円増加して2兆4,628億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比861億円増加して2兆6,144億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取り組みました結果、前期末比498億円増加して2兆326億円となりました。なお、自己資本比率(国内基準)は8.62%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比3,402百万円減少して33,569百万円、総与信に占める割合は1.62%となりました。

		令和7年3月期	
			前期比
損益	経常収益	51,734百万円	3,929百万円
	コア業務粗利益	34,128百万円	2,360百万円
	コア業務純益	15,543百万円	1,728百万円
	経常利益	12,332百万円	310百万円
	当期純利益	8,299百万円	426百万円
	本業利益(外貨調達コスト控除後)	9,048百万円	406百万円
	与信関連費用	1,487百万円	656百万円
		令和7年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	26,901億円	743億円
	預金等(譲渡性預金を含む)	24,628億円	687億円
	総預り資産	26,144億円	861億円
	貸出金	20,326億円	498億円
	有価証券	3,883億円	62億円
	自己資本比率(国内基準)	8.62%	0.13%
不良債権	金融再生法開示債権額	33,569百万円	△3,402百万円
	総与信に占める割合	1.62%	△0.21%

### (2) 令和8年3月期第2四半期累計期間(令和7年4月1日~令和7年9月30日)及び通期(令和7年4月1日~令和8年3月31日)単体業績予想

#### ① 令和8年3月期第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	経常利益	中間純利益
令和8年3月期 第2四半期累計期間	6,400	4,200

#### ② 令和8年3月期通期

(単位:百万円)

	経常利益	当期純利益
令和8年3月期 通	13,250	8,700

### 3. 香川銀行

#### (1) 令和7年3月期（令和6年4月1日～令和7年3月31日）単体業績

当期における損益状況は、経常収益は、貸出金利息、有価証券利息配当金及び役務取引等収益が増加したこと等により、前期比2,595百万円増加して37,090百万円となりました。

また、コア業務粗利益は、資金利益及び役務取引等利益が増加したこと等により、前期比2,770百万円増加して27,007百万円となり、銀行本業の収益を示すコア業務純益は、前期比2,992百万円増加して12,363百万円となりました。

経常利益は、与信関連費用が増加したものの、前期比956百万円増加して10,497百万円となり、当期純利益は、前期比840百万円増加して7,181百万円となりました。

当期末における主要勘定残高の状況は、譲渡性預金を含む預金等残高は、個人・法人預金ともに増加し、前期末比1,405億円増加して2兆887億円となりました。預り資産を加えた総預り資産残高は、前期末比1,436億円増加して2兆2,350億円となりました。また、貸出金残高は、中小企業・個人向け貸出等に積極的に取組みました結果、前期末比837億円増加して1兆6,655億円となりました。なお、自己資本比率（国内基準）は10.07%となりました。

金融再生法開示債権額は、前期末比1,048百万円増加して32,224百万円、総与信に占める割合は1.88%となりました。

		令和7年3月期	
			前期比
損益	経常収益	37,090百万円	2,595百万円
	コア業務粗利益	27,007百万円	2,770百万円
	コア業務純益	12,363百万円	2,992百万円
	経常利益	10,497百万円	956百万円
	当期純利益	7,181百万円	840百万円
	本業利益（外貨調達コスト控除後）	8,223百万円	1,804百万円
	与信関連費用	2,128百万円	1,247百万円
		令和7年3月期末	
			前期末比
主要勘定残高・諸比率	総資産	23,344億円	1,480億円
	預金等（譲渡性預金を含む）	20,887億円	1,405億円
	総預り資産	22,350億円	1,436億円
	貸出金	16,655億円	837億円
	有価証券	3,455億円	421億円
	自己資本比率（国内基準）	10.07%	0.15%
不良債権	金融再生法開示債権額	32,224百万円	1,048百万円
	総与信に占める割合	1.88%	△0.04%

#### (2) 令和8年3月期第2四半期累計期間（令和7年4月1日～令和7年9月30日）及び通期（令和7年4月1日～令和8年3月31日）単体業績予想

##### ① 令和8年3月期第2四半期累計期間 (単位：百万円)

	経常利益	中間純利益
令和8年3月期 第2四半期累計期間	5,450	3,800

##### ② 令和8年3月期通期 (単位：百万円)

	経常利益	当期純利益
令和8年3月期 通	11,100	7,550

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先】

トモニホールディングス株式会社 経営企画部 TEL：087-812-0102  
 株式会社徳島大正銀行 企画部 TEL：088-656-1118  
 株式会社香川銀行 総合企画部 TEL：087-812-5132